

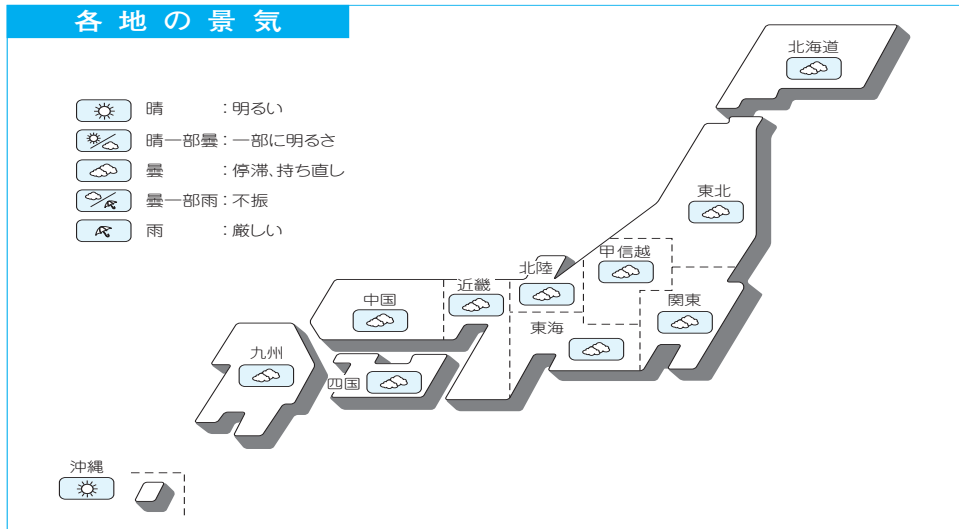
全国地方銀行協会



地方経済天気図

(平成28年2月発表分) から

足踏みが続く

1. 各地の景況感



-  •北海道、中国…輸出は弱含み、生産は横這い。住宅建築は上向き。
- 東北、四国…大型小売店販売は冬物衣料が振るわず。設備投資は伸び悩み、公共工事は減少。
- 関東、九州…輸出は中国向け鉄鋼が減少。生産は電気機械、電子部品・デバイスが減産、公共工事は弱含み。観光は持ち直し。
- 甲信越、近畿…大型小売店販売は暖冬の影響から冬物衣料が不振、住宅建築も減少。設備投資は伸び悩み。
- 北陸、東海…輸出は弱含み。生産は横這い。
-  •沖縄…観光は国内客・外国人客ともに増加し、好調を持続。個人消費も持ち直し。

2. 近県「現在の景況」

「宮城県」

全体として景気は、一部に弱い動きがみられるものの、震災復興需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、基調としては緩やかに回復している。

「山形県」

一部で弱含んでおり、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

「新潟県」

横這いで推移している。

「栃木県」

県内経済は緩やかに回復しているものの、一部に弱さがみられる。

「茨城県」

県内経済は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

下北地域の5市町村は、地元振興の事業に取り組みようとする個人や団体への支援策として、インターネット経由による資金調達の手法・クラウドファンディングを活用する「FAAVO 下北事業」を4月より開始する。事業の実施により、資金難を理由に埋もれていたアイデアの実現を後押し地域の活性化を目指す。

「岩手県」

岩手経済研究所が10月に実施した「いわて景気ウォッチャー調査」（有効回答数101件）によると、3ヵ月前と比較した県内景気の現状に対する判断指数は前回（48.0）に比べ3.2ポイント低下の44.8と4期（12ヵ月）ぶりに悪化し、景況感の分かれ目とされる50を7期連続で下回った。県内の景気ウォッチャーは、プレミアム商品券による消費活動の活性化が一部みられたものの、人手不足の深刻化による企業活動の制約などから景気の動きが弱いと感じている。分野別では家計関連指数43.3（前回比△3.4ポイント）、企業関連指数49.0（同+0.1ポイント）、雇用関連指数44.4（同△10.6ポイント）となった。

「秋田県」

1月25日、秋田県産黒毛和牛のブランド「秋田牛」のタイへの輸出が本格的に始まるにあたり、県食肉流通公社、バンコクの食品輸入会社ノーブル・モノ、輸出事務代行を担うヤマトグループの3社が輸出の基本契約に調印した。タイへは、1月28日に240キロ出荷するのを皮切りに、毎月200キロ前後を輸出する予定。現地では富裕層をターゲットに、高級料理店や焼肉店など7店舗で「秋田牛」が提供される。

「宮城県」

県は、プロ野球球団東北楽天ゴールデンイーグルスが宮城県に及ぼす経済効果を発表した。2015年シーズンの経済効果は、前年比2.8%（6億円）減の206億円と試算され、内訳としては、ゲーム開催による観客の入場料、交通費、飲食費、グッズ購入費などに伴う直接効果が同3.8%（5億円）減の127億円、直接効果から生じる各産業への波及効果（1次、2次）が同1.3%（1億円）減の79億となっている。この他、マスメディアを通じた地域の知名度向上などのシティセールス効果や二軍戦など球団運営による消費効果、さらにはビジター球団や取材メディアによる消費効果なども見込まれる。

「山形県」

山形銀行が昨年12月に県内企業（有効回答488社）を対象に実施した「経営展望調査」によると、2016年度の自社の収益（経常利益段階）が前年比「好転する」との回答は29.7%、「横這い」は48.2%、「悪化する」は22.2%となり、「好転する」との回答割合は前年調査に比べ2.9ポイント上昇した。

「新潟県」

新潟県を拠点とするAKB48の姉妹グループ、NGT48の専用劇場が1月10日、万代地区にある複合商業施設「ラブラ2」内にオープンした。「ラブラ2」やその周辺では、冬物衣料のセールに訪れた女性客に交り、NGTのタオルやペンライトなどを持った多くの男性ファンが集まり、県外から来たファンも少なくないようだった。周辺店舗や宿泊施設への波及効果なども徐々にみられ始めており、劇場オープンを中心市街地に人を呼び戻す起爆剤と捉える関係者は多く、「NGT効果」に期待を寄せている。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図2月分より抜粋）